

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスwoody(単位1)			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 9日 ~ 令和8年 1月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 9日 ~ 令和8年 1月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 9日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員間の情報共有が密で、チームとして一貫した支援が行われている。	・日々の支援内容や子どもの様子を記録し、職員間で振り返りを行っている。	・職員研修や外部研修への参加を増やし、支援の質の向上を図る。

2	<p>・一人ひとりの特性や発達段階に応じた個別支援計画を丁寧に作成・実施している。</p>	<p>・子どもの「できた」「楽しい」と感じられる声掛けや関わりを意識している。</p>	<p>・より多様な活動プログラムを取り入れ、子どもの興味・関心を広げていく。</p>
3	<p>・保護者との信頼関係が築けており、家庭と連携した支援が出来ている。</p>	<p>・保護者との連絡や面談を通して、家庭での様子も把握するよう努めている。</p>	<p>・関係機関との連携を強化し、包括的な支援体制を整えていく。</p>

	<p>事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p>	<p>事業所として考えている課題の要因等</p>	<p>改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等</p>
1	<p>・職員によって支援方法や関わり方に差が出る場面がある。</p>	<p>・職員の経験年数や専門知識に差があり、支援スキルの統一が難しいこと。</p>	<p>・定期的なミーティングやケース検討の時間を設け、支援方法の共通理解を深める。</p>
2	<p>・業務が多忙な時期には、振り返りや検討の時間が十分に確保できないことがある。</p>	<p>・日々の業務に追われ、支援の検証や情報共有の時間が限られていること。</p>	<p>・研修や勉強会を通じて、職員一人ひとりの支援スキル向上を図る。</p>

3	<ul style="list-style-type: none">・子どもの成長に応じた支援内容の見直しが、計画的に行えていない場合がある。	<ul style="list-style-type: none">・子どもの特性やニーズが多様化しており、支援内容の整理や調整が追いつきにくいこと。・個別支援計画の見直し時期を明確にし、子どもの成長に応じた支援の更新を行う。
---	---	--